

伊東

- 1 海洋教育版のボードゲームを作成する。
- 2 SDGs 目標「14 海の豊かさを守ろう」を中心に課題を把握し、他の目標（「8」「13」等）や「仙台防災枠組」等地域のアクションと関連づけながらハザードを作成する。

→探究ならびに調べ学習

- 3 調べたことがハザードになる。世界の海洋に関わる問題だけではなく、学校近隣の資源等身近な題材も活用する。

→①国際②国内③県内3つの視点から調査。最終的に調査、探究したものを組み合わせるボードゲームを作成する（ボードゲームは1つでも複数でも可）。

○探究の時間（金曜日・6h）

6 / 5 : 目標14と他の目標の関連づけ。1年次までに調べた内容が探究活動に耐え得るかの確認。

6 / 12 : 調査対象の確定① 何を、どのように、いつまでに調べるか。

6 / 19 : 調査対象の確定② 何を、どのように、いつまでに調べるか。

6 / 26 : SDGs ワークショップ体験。（5, 6h）

7 / 3 : WSを受けての振り返り。発想を広げ、収束する。調査①

7 / 17 : 調査②

7 / 31 : 調査③

8 / 21 : クライシスの確定。ゲーム進行を考える①

9 / 4 : ゲーム進行を考える②

9 / 11 : ボードゲーム作成①

9 / 18 : ボードゲーム作成②

10 / 2 : ボードゲーム作成③ならびに仮実践

10 / 9 : ボードゲーム実践ならびに講評

10 / 23 : ボードゲーム改善①

10 / 30 : ボードゲーム改善②

11 / 6 : ボードゲームリハーサル

11 / 7 : GS フェスタ

* 1 : G S フェスタ以降の予定は今後。

2 : 探究の時間にとらわれず Google を活用して研究をすすめる。

3 : 調査にあたって外部との連携が必要な場合は、調整にあたる。

4 : 必要に応じて視察または共同研究を行う。

5 : 大会参加ならびに近隣小中学校での実践を調整する。

6 : 調査に関して

- ・ マイクロプラスチックは2班ある。切り口を変える。宮城県のプラスチック問題等。
- ・ サンゴのみならず捕鯨や漁獲高の減少なども視野に入れる。
- ・ 津波一観光、復興、防災、景観（堤防）、生態系の変化なども視野に入れる。
- ・ 白書、環境省HP、JAMSTEC データカタログ、宮城県水産林政部水産業課DB、東北区水産研究所（塩釜新浜）DBなどを渉猟する。
- ・ 取材先一貞山運河（熊谷光亀氏）、水環境（佐野大輔氏）、JAMSTEC（渡辺英嗣氏）、志津川高校（生態系の変化）、石巻・気仙沼・仙台等の行政、海の杜水族館、近隣の魚屋（渡憲）、羅臼高校（ZOOM）…